

中国人日本語学習者と母語話者の頻度の副詞的修飾成分の使用実態

りん しゅん

林 春・帝京大学

大規模なコーパスから抽出した中国人日本語学習者と母語話者の頻度の副詞的修飾成分の使用実態について考察する。その後、教科書における頻度の副詞的修飾成分の使用状況を分析し、その使用上の問題点を明らかにする。最後に、学習者と母語話者が使用している頻度の副詞的修飾成分に基づき、新しい教科書における用例の選定と指導順序を導入すべきだと提案した。

本稿では、大規模なコーパスから抽出した中国語を母語とする日本語学習者（以下は学習者と略す）と日本語母語話者（以下は母語話者と略す）の頻度の副詞的修飾成分の使用実態について考察する。その後、教科書における頻度の副詞的修飾成分の使用状況を分析し、その使用上の問題点を明らかにする。最後に、新しい教科書の作成に向けて、頻度の副詞的修飾成分の用例選定と導入順序を提案する。

頻度の副詞的修飾成分について、仁田（2002：261）は「頻度の副詞およびその周辺に位置する副詞的修飾成分は、事態生起の回数的なあり方から、事態に対して、事態の成立のありようや成立状況を付加し特徴づけたものである」と述べている。本研究では、仁田氏の定義に従って学習者と母語話者、教科書に使用されている頻度の副詞的修飾成分を抽出することにする。

まず、学習者が産出した頻度の副詞的修飾成分の正用文と誤用文を統計し、その学習難易度を以下のように明らかになった。

- 1) 学習難易度を学習しやすい順で並べると、次のとおりである。(1) 「よく」→(2) 「毎日」「いつも」「また」→(3) 「一度」「常に」「何度も」「時々」「もう一度」「何回も」「絶えず(に)」「年々」「一回」「毎年」「日々」「めったに…ない」「たまに(は)」「毎週」「一度も」「毎朝」「しばしば」「頻繁に」「ふたたび」「何度か」「再度」→(4) 「毎回」「まれに」「始終」「時折」「たまたま」「毎度」である。

次に、母語話者が使用している頻度の副詞的修飾成分の出現頻度とその分布について分析した。分析した結果は以下のとおりである。

- 2) 母語話者が使用している頻度の副詞的修飾成分の出現頻度を高い順で並べると、次のとおりである。(1) 「よく」→(2) 「いつも」「再び」「常に」→(3) 「もう一度」「一度」「ときどき」「たまに」「たまたま」「再度」「二度と」「また」「めったに…ない」「時に」「たびたび」「しょっちゅう」「日ごろ」「続々」「再三」「往々」→(4) 「常々」「折々」「時たま」である。

また、学習者と母語話者の頻度の副詞的修飾成分の使用の実態を比較して分析した。その結果は以下のようなになる。

- 3) 学習者が使用している「毎日」「始終」「時折」「毎度」は母語話者に使用されていない。
- 4) 学習者が使用していない「しょっちゅう」「日ごろ」「多々」「続々」「再三」「往々」「常々」「折々」「時たま」「一度(に)」は母語話者に使用されている。

以上のように、学習者が使用している頻度の副詞的修飾成分は母語話者に使用されていない。一方、学習者が使用していない頻度の副詞的修飾成分は母語話者に使用されている。そのため、新しい教材を作成する際に、学習者あるいは母語話者が使用している頻度の副詞的修飾成分の実態に基づいて用例の

選定と指導順序を導入する場合、一部の頻度の副詞的修飾成分を習得することができないと考えられる。

さらに、教科書における頻度の副詞的修飾成分の導入順序・出現回数を調査し、母語話者と学習者が使用している頻度の副詞的修飾成分と比較した結果、教科書における頻度の副詞的修飾成分の使用上の問題点が分かった。

- 5) 学習者が使用している「頻繁に」「再度」「毎回」「まれに」「始終」「毎度」「時折」と母語話者が使用している「しょっちゅう」「日ごろ」「多々」「続々」「再三」「往々」は教科書に使用されていない。

最後に、新しい教科書を作成する際に、学習難易度が低いものから高いものへ、さらに、母語話者の使用頻度が高いものから低いものへという用例の選定と導入順序を以下のように提案する。

- (1) 「よく」「毎日」「いつも」「また」「再び」「常に」「一度」「何度も」「時々」→ (2) 「もう一度」「たまに」「たまたま」「何回も」「絶えず(に)」「年々」「一回」「毎年」「日々」→ (3) 「再度」「めったに…ない」「たびたび」「毎週」「毎朝」「しばしば」「頻繁に」「ふたたび」「しょっちゅう」→ (4) 「日ごろ」「続々」「再三」「往々」「毎回」「まれに」「始終」「毎度」である。

以上のように、学習者と母語話者の頻度の副詞的修飾成分の使用実態について考察した後、両者の使用状況を比較して分析した。その上で、教科書における頻度の副詞的修飾成分の使用実態を考察し、学習者と母語話者の頻度の副詞的修飾成分の使用実態と比較し、教科書における頻度の副詞的修飾成分の問題点を明らかにした。以下に本稿において明らかになったことをまとめる。

- 1) 学習者が使用している頻度の副詞的修飾成分は母語話者に使用されていない。一方、学習者が使用していない頻度の副詞的修飾成分は母語話者に使用されている。そのため、新しい教材を作成する際に、学習者あるいは母語話者が使用している実態に基づいて用例の選定と指導順序を導入する場合、一部の頻度の副詞的修飾成分を習得することができなくなる。
- 2) 学習者と母語話者が使用している一部の頻度の副詞的修飾成分は教科書に使用されていない。
- 3) 新しい教科書を作成する際に、学習者と母語話者が使用している頻度の副詞的修飾成分に基づいて用例の選定と指導順序を導入するべきだと提案した。